

第50回水工学講演会

2006年3月7日[火]－9日[木]

第50回水工学講演会を下記のように開催致します。今回は、第1回水理研究会から数えて第50回目の記念すべき講演会となります。一般講演など例年の企画に加えて種々の特別企画を用意致しました。奮ってご参加下さいますようご案内いたします。

1. 主 催：土木学会（担当：水工学委員会）

2. 開催期日：2006年3月7日(火)～9日(木)

7日(火) 開会式・一般講演・国際セッション・
日本の水害とその対策に関するオープンフォーラム・交流会

8日(水) 一般講演・国際セッション・アゲールシン
ポジウム・河川災害に関するシンポジウム

9日(木) 一般講演・国際セッション・閉会式

3. 会 場：京都大学吉田キャンパス

(〒606-8501 京都市左京区吉田本町)

(1) 時計台記念館

○日本の水害とその対策に関するオープンフォーラム(100周年記念ホール)

○アゲールシンポジウム(国際交流ホールⅢ)

○河川災害に関するシンポジウム(国際交流ホールⅠ)

○交流会(国際交流ホールⅠ・Ⅱ)

(2) 吉田南総合館(一般講演, 国際セッション)

第1会場：共北25教室(北棟2F), 第2会場：共北26教室(北棟2F),

第3会場：共北27教室(北棟2F), 第4会場：共北28教室(北棟2F),

第5会場：共北31教室(北棟3F), 第6会場：共北32教室(北棟3F)

開会式・閉会式はともに第1会場(国際セッションの会場)で開催されます。

4. 参加方法：参加無料・自由参加

(事前申込みは不要です。当日会場へ直接ご来場下さい)

※参加者は、受付にて必ずご記載下さい。

5. 論 文 集：

本年より論文はCD-ROMに収録され、論文要旨集(1ページ/編)とともに頒布されます。水工学論文集(CD-ROMと要旨集)の事前購入は、ホームページ(URL: <http://www.jsce.or.jp/committee/hydraulic/hydr.html>)からお申込み頂けます。2月22日まで事前購入の受付を致します。なお、余部がある場合は、当日会場でも販売致します。

6. 発表時間：

一般講演は1題あたり発表時間9分、討議6分、合計15分です。発表には、PCプロジェクターのみ使用できます。PCプロジェクターを使用する場合、コンピューターは各講演者をご準備下さい。

記

日本の水害とその対策に関するオープンフォーラム
(河川環境管理財団・土木学会関西支部後援、市民参加行事)

1. 日 時：3月7日(火) 13:00～17:00

2. 場 所：京都大学吉田キャンパス時計台記念館 100周年記念ホール

3. プログラム：

司会：道奥康治(水工学委員会幹事長)

(1) 開会挨拶(趣旨説明含む)：辻本哲郎(水工学委員会委員長)

(2) 話題提供

1) 「近年の自然災害と河川整備の新たな展開」

谷本光司(国土交通省近畿地方整備局河川部長)

2) 「都市水害の課題」

井上和也(京都大学名誉教授, 前京都大学防災研究所所長)

3) 「4種類の被害を減らすための『スマート』な対策」

林 春男(京都大学防災研究所教授)

4) 「河川行政の転換点」

櫻井敬子(学習院大学法学部教授)

(3) DVD上映 2004年豪雨・台風災害

(4) パネルディスカッション

コーディネーター：辻本哲郎(名古屋大学教授)

(5) 閉会挨拶：池淵周一(京都大学防災研究所教授)

4. 参加方法：参加無料。自由参加。

(事前申込みは不要です。当日会場へ直接ご来場下さい。)

一般からのご参加を歓迎致します。

河川災害に関するシンポジウム

1. 日 時：3月8日(水) 15:30～18:00

2. 場 所：京都大学吉田キャンパス時計台記念館 国際交流ホールⅠ

3. 共 催：自然災害研究協議会・(社)土木学会水工学委員会

4. 参加方法：参加無料・自由参加

(事前申込みは不要です。当日会場へ直接ご来場下さい)

5. プログラム

司会：立川康人(京都大学助教授)

1) 2004年インド洋津波によるスリランカでの河川災害

田中 仁(東北大学教授)

2) 2005年ハリケーン・カトリナによる高潮災害

辻本哲郎(名古屋大学教授), 河原能久(広島大学教授)

3) 2005年台風14号による九州地域の豪雨災害

杉尾 哲(宮崎大学教授)

第18回アゲールシンポジウム

1. 日 時：3月8日(水) 15:30～18:00

2. 場 所：京都大学吉田キャンパス時計台記念館 国際交流ホールⅢ

3. 主 催：水工学委員会地球環境水理学小委員会

4. 参加方法：参加無料・自由参加

(事前申込みは不要です。当日会場へ直接ご来場下さい)

5. プログラム

司会：村上正吾((独)国立環境研究所総合研究官)

1) 基調講演：盛岡 通(大阪大学教授, 環境システム委員会委員長)

2) パネラーからの話題提供：

・水 循 環：鼎信次郎(総合地球環境学研究所助教授)

・流 砂 系：後藤仁志(京都大学助教授)

・河川生態：戸田祐嗣(名古屋大学講師)

・水 環 境：石川忠晴(東京工業大学教授)

3) パネルディスカッション

交流会

1. 日 時：3月7日(火) 17:30～19:30

2. 場 所：京都大学吉田キャンパス時計台記念館 国際交流ホールⅠ・Ⅱ

3. 会 費：一般：5,000円, 学生：2,000円

4. 参加方法：3月7日(火) 10:00～講演会受付にてお申し込み下さい。

第1日目 3月7日(火)

第1会場(共北25教室)

9:40~10:00

開会式 開会挨拶:水工学委員会委員長 辻本哲郎(名古屋大学)
水工学論文賞・論文奨励賞・国際セッション優秀論文賞 授与式

10:10~12:00

国際セッション・PUB

座長:堀 智晴(京都大学)

KEYNOTE LECTURE 1

K-1 NEW TREND AND APPLICATION OF RUNOFF ANALYSIS

○Tadashi YAMADA(Chuo University)

14 APPLICATION OF TIME COMPRESSION APPROXIMATION METHOD
TO INCORPORATE MULTI-STORM INFILTRATION PROCESSES IN
YAMANASHI HYDROLOGICAL MODEL FOR ARID AND SEMI-ARID
REGIONS

○Guoqiang WANG・Iain STRUTHERS・Prasanth HAPUARACHCHI
Kuniyoshi TAKEUCHI・Hiroshi ISHIDAIRA

15 UNCERTAINTY ASSESSMENT OF HYDROLOGICAL MODEL USING
PARETO BASED MULTIOBJECTIVE OPTIMIZATION

○Satish BASTOLA・Kuniyoshi TAKEUCHI・Hiroshi ISHIDAIRA

16 AN ASSESSMENT OF UNCERTAINTY IN PRECIPITATION ON
RUNOFF SIMULATION

○Khada Nanda DULAL・Kuniyoshi TAKEUCHI
Hiroshi ISHIDAIRA

17 A BLIND TEST METHOD FOR PREDICTION IN UNGAUGED BASIN

○Ali CHAVOSHIAN・Kuniyoshi TAKEUCHI

Hiroshi ISHIDAIRA・Yukiko HIRABAYASHI

18 A PSEUDO VALIDATION ALGORITHM FOR HYDROLOGICAL
MODEL RELIABILITY ASSESSMENT

○Shen CHIANG・Yasuto TACHIKAWA・Kaoru TAKARA

19 DOWNSCALING METHODS OF FLOW VARIABLES FOR SCALE
INVARIANT ROUTING MODEL

○Nawa Raj PRADHAN・Yasuto TACHIKAWA・Kaoru TAKARA

第2会場(共北26教室)

10:15~12:00

大規模水循環 座長:大石 哲(山梨大学)

87 夏季の山地域における対流性降水に土壌水分量の違いが与える影響

○相馬一義・田中賢治・中北英一・池淵周一

88 力学的アンサンブル手法による熱帯アジアモンスーン地域の河川流量の
潜在的季節予測可能性

○仲江川敏之・保坂征宏

89 Bucket型の陸面過程モデルをベースにした全球統合水資源モデルの開発

○花崎直太・鼎信次郎・沖 大幹

90 全球灌漑要求水量と降水量の相関分析

○萬 和明・田中賢治・池淵周一

91 降水変動に与える陸面影響度の季節性

○山田朋人・鼎信次郎・沖 大幹

92 高解像度全球気候モデルによる地球温暖化時の夏季アジアモンスーン

○大桑浩司・江守正多

93 CCSR/NIES 5.4g水同位体大循環モデル:改善のための感度実験

○石崎安洋・芳村 圭・沖 大幹・鼎信次郎

第3会場(共北27教室)

10:15~11:45

リスクマネジメント 座長:末次忠司(国土技術政策総合研究所)

100 近年水害経験の少ない流域の洪水ハザードマップ認知状況

朝位孝二・榊原弘之・○諏訪宏行・藤重浩雄

101 ダム操作過程を導入した広域分布型流出予測システムによる淀川流域の治水安全度評価

○佐山敬洋・菅野浩樹・立川康人・寶 馨

102 時間・空間スケールを考慮した異常降雨のグローバル解析に関する基礎的研究

中北英一・○義本欣司

103 地域気候モデルを用いた地球温暖化に伴う洪水リスクの評価に関する考察

○和田一範・川崎将生・富澤洋介

104 降雨極値の再現期間を用いた斜面災害の発生確率

○川越清樹・風間 聡・沢本正樹

105 メコン河における洪水規模による水系感染症のリスク変動

○相澤寿樹・風間 聡・渡部 徹・沢本正樹

第4会場(共北28教室)

10:15~11:30

河床形態 座長:渡邊康玄(北海道開発土木研究所)

161 砂州形状の特性と平水時の流路構造

○寺本敦子・辻本哲郎

162 モード干渉を考慮した砂州のモード減少過程

○渡邊康玄

163 給水・給砂の非定常性と植生の繁茂を考慮した砂州及び流路の形成水理条件

○竹林洋史・江頭進治・岡部健士・寺岡充夫

164 発散・収束河道のクランクフローに関する現地調査とその考察

○須賀如川・三品智和・唐沢 潔・竹内清文・古川保明

165 透礫層の形成とその充填機構に関する研究

○福島雅紀・末次忠司・瀬崎智之

第5会場(共北31教室)

10:15~11:45

河川の水質環境

座長:大本照憲(熊本大学)

178 気候変動による河川水温の影響

○白岩淳一・風間 聡・沢本正樹

179 都市の人工排熱が河川水温に及ぼす影響

○宮本 守・木内 豪・八木 宏・中山 有・神田 学

180 バンドン市のスラム地区における生活排水の現地調査

○牛島 健・入江光輝・Neni SINTAWARDANI
Jovita TURIASTUTI・石川忠晴

181 エコバイオ・ブロック(EBB)の水質浄化機能に関する基礎的研究

松永信博・○徳永貴久・増田壮佑・矢野信一郎・押川英夫

藤田和夫・古賀雅之・岩下智明・原田敦彦

182 環境ホルモン物質の河道内貯留に関する基礎的研究

関根正人・○大内良二

183 沈水植物による水中の環境ホルモン浄化に関する基礎的研究

○古賀智之・池田駿介・大澤和敏・金井康一

第6会場(共北32教室)

10:15~12:00

数値解析(1)

座長:細田 尚(京都大学)

122 気液管内流中の圧力損失と流況について

○山田泰正・小川 元・落合 実・遠藤茂勝

123 放水路内高濃度濁質進入現象の数値解析

○米山 望・田中伸和・後藤孝臣・本多 毅

124 数値移動床による格子型砂防ダム閉塞過程のシミュレーション

後藤仁志・原田英治・酒井哲郎・○合田健一

125 固体粒子を含むビンガム塑性流体の数値解析手法の提案

○藤田 学・牛島 省

126 運動する任意形状物体を含む流れ場のMICSによる数値計算法

○藤岡 奨・牛島 省

127 DNSによる開水路底面近傍速度場と空間平均流速場の検証

○中山昭彦

128 非構造格子浅水流数値モデルを用いた側岸凹部流れの水面振動構造の解析

○椿 涼太・藤田一郎

時計記念館(100周年記念ホール)

13:00~17:00

日本の水害とその対策に関するオープンフォーラム

第2日目 3月8日(水)

第1会場(共北25教室)

9:00~10:35

国際セッション・河床土砂

座長:清水康行(北海道大学)

KEYNOTE LECTURE 2

K-2 HYDRAULICS-ECOLOGY COOPERATIVE RESEARCH ON RIVER ECOSYSTEM
○Tetsuro TSUJIMOTO(Nagoya University)

26 LABORATORY EXPERIMENTS ON MOISTURE CONTENT
VARIATION AND LANDSLIDES CAUSED BY TRANSIENT RAINFALL

○Raj Hari SHARMA・Hajime NAKAGAWA・Yasuyuki BABA・
Yasunori MUTO・Makato ANO

27 QUALITATIVE METHODS FOR DETECTING THE SEDIMENT
SOURCES BY GRAIN SIZE DISTRIBUTION AND X-RAY DIFFRACTION

○Dian Sisinggih・Kengo SUNADA・Satoru OISHI

28 PREDICTION OF LOCAL SCOUR DEPTH AROUND BANDAL-LIKE
STRUCTURES

○Md. Munsur RAHMAN・Hajime NAKAGAWA・Naoki ITO・Anisul HAQUE
Tarekul ISLAM・Md. Rezaul RAHMAN・M. Mozzammel HOQUE

29 COMPUTATION OF FLOW, TURBULENCE AND BED EVOLUTION
WITH SAND WAVES

○Sanjay GIRI・Yasuyuki SHIMIZU

30 BEDFORMS AND SEDIMENT TRANSPORT RATES IN MEANDERING
CHANNEL INFLUENCED BY FLOODPLAIN ROUGHNESS

○Taisuke ISHIGAKI・Koji SHIONO・Tony CHAN

10:45~12:30

国際セッション・流出

座長:陸 旻岐(長岡技術科学大学)

7 A DISTRIBUTED BIOSPHERE HYDROLOGICAL MODEL (DBHM)
FOR LARGE RIVER BASIN

○Qiuqiong TANG・Taikan OKI・Shinjiro KANAE

- 8 ENSEMBLE RAINFALL-RUNOFF PREDICTION WITH RADAR IMAGE
EXTRAPOLATION AND ITS ERROR STRUCTURE
○Sunmin KIM・Yasuto TACHIKAWA
Takahiro SAYAMA・Kaoru TAKARA
- 9 DEVELOPMENT OF A DISTRIBUTED SNOW MODEL COUPLED
WITH A NEW METHOD OF DEGREE-DAY FACTORS ESTIMATION
○Mikhail GEORGIEVSKY・Hiroshi ISHIDAIRA
Kuniyoshi TAKEUCHI
- 10 EFFECT OF CAPILLARY RISE ON SUBSURFACE RUNOFF IN THE
REW MODELING FRAMEWORK
○Yoshiyuki YOKOO・Murugesu SIVAPALAN
- 11 APPLICATION OF A DISTRIBUTED HYDROLOGICAL MODEL COUPLED
WITH DAM OPERATION FOR FLOOD CONTROL PURPOSES
○Oliver SAAVEDRA・Toshio KOIKE・Dawen YANG
- 12 APPLICATION OF DISTRIBUTED HYDROLOGICAL MODEL TO
ANALYZE BRIDGE-COLLAPSE SCENARIOS IN THE ASUWA RIVER
2004 FLOOD
○NMNS Bandara NAWARATHNA・Kazuo ISHINO
Yasuto TACHIKAWA・Nobuyuki TAMAI
- 13 EVALUATION OF FLOOD REGULATION ROLE OF PADDIES IN THE LOWER
MEKONG RIVER BASIN USING A 2D FLOOD SIMULATION MODEL
○Pham Thanh HAI・Takao MASUMOTO・Katsuyuki SHIMIZU

13:30~15:20

国際セッション・水理

座長：泉 典洋（東北大学）

KEYNOTE LECTURE 3

K-3 PLANNING AND MANAGEMENT OF FIELD EXPERIMENTS IN
ENVIRONMENTAL HYDRAULICS

○Tadaharu ISHIKAWA(Tokyo Institute of Technology)

- 20 NONLINEAR ANALYSIS OF SPATIAL VARIATION OF VELOCITY
PROFILE IN A PRESSURIZED LAMINAR FLOW BETWEEN WAVY
BOUNDARIES

○Prosper MGAYA・Takashi HOSODA・Kiyoshi KISHIDA

- 21 CHARACTERISTICS OF TURBULENT BOUNDARY LAYER OVER A
ROUGH BED UNDER CNOIDAL WAVES MOTION

○SUNTOYO・Hitoshi TANAKA・Ahmad SANA・Hiroto YAMAJI

- 22 AN EXPERIMENTAL CHECK ON PARTICLE DYNAMICS
SIMULATIONS OF ERODIBLE PARTICLE BEDS; THE ROTATING
TUMBLER

○Hung TRUONG・John WELLS・Anh NGUYEN

- 23 SIMULATIONS OF 3D SUSPENSION GRAVITY CURRENTS UNDER
THE PRESENCE OF A TURBIDITY FENCE

○Jaswant SINGH・Juichiro AKIYAMA・Mirei SHIGE-EDA

- 24 EFFECT OF MORPHOLOGICAL CHANGES AND WAVES ON
SALINITY INTRUSION IN THE NAKAKITA RIVER MOUTH

○Nguyen Trung VIET・Hitoshi TANAKA

Daisuke NAKAYAMA・Hiroto YAMAJI

- 25 CHARACTERISTICS OF WINTER CURRENT PATTERN IN THE
ISHIKARI BAY

Viet Son LE・○Toshihiko YAMASHITA・Makoto MIYATAKE

Ryuichiro SHINOHARA

第2会場（共北26教室）

9:15~10:30

雪氷水文

座長：石平 博（山梨大学）

- 70 チベット高原における凍土融解過程の長期変動

○広瀬 望・小池俊雄

- 71 積雪水資源量評価における森林の影響について

○泉 宏和・風間 聡・沢本正樹

- 72 東北と北陸地方の日本海側における降水と積雪の気温依存性

○鈴木博人

- 73 地上マイクロ波放射計を用いた地上積雪観測に基づく積雪量推定衛星ア
ルゴリズム検証

○筒井浩行・小池俊雄・Tobias Graf・兒玉裕二・青木輝夫

- 74 400MHz帯ウィンドプロファイラを用いた融解層より上層における粒径
分布の推定手法の開発

○北村康司・中川勝広・関澤信也・花土 弘・高橋暢宏・井口俊夫

10:40~12:25

降水

座長：中北英一（京都大学）

- 63 TRMM/PR降雨強度推定アルゴリズムの再検討―表面参照法に起因する
バイアス―

○瀬戸心太

- 64 低飽和比の潮解湿度帯域における雲粒の構造と吸湿性CCNの相転移

○芝 定孝・平田雄志・八木俊策

- 65 詳細な陸面過程を組み込んだ雲解像モデルによる練馬豪雨に対する都市
の影響評価

○伊藤洋太郎・茂木耕作・相馬一義・萬 和明・田中賢治・池淵周一

- 66 アラビア海における低気圧の発生および発達過程に関する研究

○谷口健司・小池俊雄

- 67 実運用降雨予測システムの高度化に向けた新たな可降水量推定手法の開発
橋本徳昭・○高田 望・大石 哲

- 68 自己組織化マップの特性を利用した降雨予測

○西山浩司・遠藤伸一・神野健二

- 69 経年変化の検証を意図した降雨の空間的集中度の定量化

○鈴木正人

13:30~15:00

大気乱流熱輸送

座長：浅沼 順（筑波大学）

- 75 屋外都市スケールモデル実験で観測された乱流構造に関する考察

○稲垣厚至・神田 学・森脇 亮

- 76 屋外模型都市実験による都市構成面別対流熱伝達率の算定

○河合 徹・金賀将彦・神田 学

- 77 共分散構造分析に基づいた大気中CO₂濃度の時系列変動特性に関する研究

○富永綾乃・清水 保・長谷部正彦・鈴木善晴

- 78 東京湾におけるエネルギー・H₂O・CO₂フラックスの季節変化

○小田僚子・森脇 亮・神田 学

- 79 異なる森林土壌におけるCO₂ガス濃度の時間的・空間的変動特性

○縄田孝彦・土屋十園・保坂 香

- 80 衛星利用型光合成モデルによる日本の水稲のCO₂固定量推定

○金子大二郎

第3会場（共北27教室）

9:00~10:30

浸透

座長：岡 泰道（法政大学）

- 37 飽和・不飽和浸透流解析による不均一地盤内のフィンガリング現象に関
する研究

○齋藤雅彦

- 38 細管層流中の物質移流分散に関する一整理～多孔体物質輸送との対比～

○鷺見哲也

- 39 物理的・化学的不均一浸透場における見かけの分散長

○中川 啓・和田信一郎・梶井和朗・Ronny BERNDTSSON

- 40 分散長に及ぼす透水係数分布の影響とパラメータ推定手法の比較

○井上一哉・正木一平・小林 晃・田中 勉

- 41 水際河床間隙の目詰まりに関する実験的研究

片貝武史・○荻田章仁・鷺見哲也・辻本哲郎

- 42 土壌水分量に基づく森林斜面での不飽和鉛直浸透・先行降雨指標・流出量の検討

○坂本 康・芳賀弘和・伊奈奈津子・藤田昌史・西田 維

10:40~12:10

地下水

座長：坂本 康（山梨大学）

- 43 感潮河川周辺域の不圧帯水層における塩水侵入の変動特性

○安元 純・上荒磯聡・六車麗子・藤原 拓・大年邦雄

- 44 水循環解析による都市化域での水資源賦存量評価

○才田 進・高橋 研・神野健二・濱里 学・下大迫博志

- 45 丸亀平野における水循環系の調査と解析

○濱崎 修・大八木豊・辻倉裕喜・河原能久

- 46 地下水に関するデータベースと涵養作用に関する研究

○天方匡純・川崎将生・富澤洋介・安田成夫・村瀬勝彦・西垣 誠

- 47 香東川扇状地における不圧地下水の水質の動態観測

○河原能久・橋本美智子・吉川省子

- 48 地下流水音による地中水みち経路の推定

○多田泰之・藤田正治・堤 大三・小山 敢・河合隆行

13:30~15:00

水文統計

座長：葛葉泰久（三重大学）

- 31 censoringを受けた年最大値資料に対する極値統計解析結果の相互比較

○宇都宮好博・山口正隆・野中浩一・畑田佳男

- 32 北海道内22気象官署における降水量の非定常頻度解析

○杉山一郎・佐渡公明

- 33 水文データ時間分解能の影響を受けない貯留関数パラメータ推定の試み

○山本隆広・陸 曼皎

- 34 人工衛星による低頻度観測情報から直接算定される地点月降雨量分散値
の補正手法

中北英一・○岡根俊介

- 35 地球温暖化による豪雨発生頻度の変化と洪水氾濫への影響評価

○東 博紀・大衆浩司・松浦知徳

- 36 気候統一シナリオによる日本の水文・気象環境の将来予測

○葛葉泰久・SANGA-NGOIE Kazadi

第4会場（共北28教室）

9:00~10:45

数値解析(2)

座長：渡邊明英（広島大学）

- 129 一般座標系での湾曲流の水深積分モデルの改良とその検証について

○音田慎一郎・細田 尚・木村一郎

- 130 コロケート格子上の非圧縮性流体計算法に基づく浅水流方程式の数値解法

牛島 省・○山下英夫・藤岡 奨・福津家久

- 131 2次流の時空間発展を考慮した水深積分モデルに関する基礎的検討
○吉田圭介・石川忠晴
- 132 個別要素法を用いた流水群の流動と集積に関する平面2次元数値解析
清水義彦・長田健吾・○高梨智子
- 133 自然調節型洪水吐きの流木による閉塞機構に関する計算水理学的研究
○五十里洋行・後藤仁志・角 哲也
- 134 任意の境界形状を有する二次元浅水流の高精度解析手法の開発
○内田龍彦・河原能久
- 135 CIP-Soroban法による河道幅を考慮した汽水域2次元数値モデルの開発
中村恭志・○小島 崇・石川忠晴

10:55~12:25

- 河床・河道変動 座長：竹林洋史（徳島大学）
- 166 釜無川中流部における河床の管理に関する検討
○宮沢直季・砂田憲吾・大石 哲・平田 学・廣瀬昌由
- 167 嘉瀬川中流域の水害防備林と前堤の現状と洪水流に及ぼす影響について
○池田幸太郎・大串浩一郎
- 168 クルド火山噴火後のブランドス川における河床変動および河床材料の変化特性
○藤田正治・里深好文・江頭進治
- 169 越流型水制群を用いた河床変動創出に及ぼす水制設置角度の影響
○松本大三・富永晃宏
- 170 河道への置き砂還元プロセスの平面2次元数値シミュレーション
重枝未玲・秋山壽一郎・○小牧貴大・高須賀真哉
- 171 混合砂礫河床材料の空隙に関するシミュレーションモデル
○堤 大三・藤田正治・Muhammad SULAIMAN

第5会場（共北31教室）

9:00~10:30

- 河川の水質・生態系 座長：天野邦彦（土木研究所）
- 184 接触酸化水路と植生浄化水路における水質浄化効果と付着藻類の消長について
○津田将行・尾島 勝
- 185 大阪府南部の生活排水が流入する河川におけるヤゴの生息限界について
○横田恭平・井伊博行・養父志乃夫・平田健正
- 186 紀ノ川下流における植物プランクトンの個体数と種構成の春から夏にかけての変化
○寺本健士・岩根良和・石塚正秀・井伊博行・平田健正
- 187 淀川楠葉復元ワンド群の水理環境
○鍛冶塩太・綾 史郎・武藤裕則・馬場康之
中西 章・出口 恭・藤田一郎・竜門俊次
- 188 裸地景観と植生景観を有する砂州における保存性イオンを利用した伏流水の流動特性
○片貝武史・亀井丈史・鷺見哲也・辻本哲郎
- 189 中国吉林省・向海湿地における丹頂鶴営巣の水文的条件について
何 春光・○石川忠晴・入江光輝・盛 連喜・王 升忠

10:40~12:25

- 河川水域の物理・環境と生態系（植生） 座長：島谷幸宏（九州大学）
- 197 ツルヨシのランナーによる群落拡大が土砂の移動限界に与える影響
○八木澤順治・田中規夫・青木信哉
- 198 河川に発達したミクリ（*Sparganium erectum*）群落の葉茎の生長特性および流れ場の応答
太田純一・小池直行・○浅枝 隆・藤野 毅
- 199 河道内に繁茂するヒメガマ *Typha angustifolia* の拡大可能性分析
○武村 武・田中規夫
- 200 浮葉植物（ガガブタ）群落の栄養塩収支および日射遮蔽に関する現地調査
○丸山治朗・中井正則・有田正光
- 201 旭川における礫河原再生と樹林化抑制に関する現地試験による検証
○渡辺 敏・前野詩朗・藤塚佳晃・宮崎 貢・眞田淳二
- 202 出水がアレチウリ群落の拡大に及ぼす影響とその考察—実験・数値解析からの検討
○大石哲也・天野邦彦
- 203 分光反射率の計測と植生指数による河道内植生の葉面積指数推定
○高橋俊守・安岡善文

13:30~15:15

- 河川水域の物理・環境と生態系（魚類・底生動物） 座長：萱場祐一（土木研究所）
- 204 都市近郊農業水路の魚類群集に及ぼす水路構造と河川との連続性の影響
○田代優秋・上月康則・佐藤陽一・大久保美知子・村上仁士
- 205 瀬と淵におけるアユの生息適正の相違およびその要因の解明
○永矢貴之・白石芳樹・鬼束幸樹・東野 誠・高見 徹・大塚法晴
秋山壽一郎・尾関弘明・畑中弘憲・中川由美子
- 206 サクラマスエネルギー収支特性を用いた生息環境評価
○矢部浩規・山下彰司
- 207 千曲川におけるギンブナの産卵行動と一時的水域の物理特性との関連性評価
○傳田正利・對馬孝治・時間利和・天野邦彦・辻本哲郎
- 208 安定同位体比を用いた河川周囲の止水域が魚類に提供する生態的機能の評価
○對馬孝治・傳田正利・時間利和・天野邦彦

- 209 底生動物の棲み込みによる河床固化—相模川水系中津川における現況を事例として—
○田代 喬・皆川朋子・萱場祐一
- 210 日本の中規模多目的ダムにおける河川環境攪乱頻度の人為的变化
○白川直樹

第6会場（共北32教室）

9:00~10:30

- 貯水池・湖沼の水質対策 座長：檜谷 治（鳥取大学）
- 225 マイクロバブルの発生機構と収縮特性
大成博文・○都並結依・大成博音・山本孝子
- 226 マイクロバブルによる富栄養貯水池の深層水の水質改善に関する現地試験
河原能久・竹内 豊・○野々村敦子・松尾克美
- 227 酸素マイクロバブルを用いた貯水池の水質浄化システム
道奥康治・○酒谷祐輔・松尾克美・尾田敏範・原 義晴
- 228 レベルセット法による気泡運動の解析—水中を上昇する空気気泡—
○月岡康一・由比政年・石田 啓
- 229 流入河川の水質特性と冷水対策が貯水池水質に及ぼす影響
○牧野育代・實 馨・立川康人
- 230 選択取水方式がダム貯水池の長期・短期的水質保全に与える影響に関する研究
○矢島 啓・吉川 栄・石黒 潤

10:40~12:25

- 湖沼の水質 座長：二瓶泰雄（東京理科大学）
- 218 諏訪湖における湖上風の非一様性とそれが湖流形成に与える影響
○豊田政史・宮原一道・萩庭康光・寺沢和晃
正田 真・降矢利勝・宮原裕一・富所五郎
- 219 諏訪湖における底質の性状および懸濁物質の挙動に関する現地観測
豊田政史・○宮原一道・北村 聡・宮原裕一・富所五郎
- 220 回転円形水路における底泥の巻き上げに及ぼす生物膜の影響に関する実験的検討
○渡辺亮一・山崎惟義・楠田哲也
- 221 印旛沼における底泥巻き上げ、湖底の光環境と水生生物との相互関係
○天野邦彦・時間利和
- 222 現地観測とボックスモデルに基づく夏季手賀沼におけるリン収支の把握
○本間孝幸・二瓶泰雄
- 223 外部擾乱に対する小川原湖の水質応答特性
西田修三・○鈴木誠二・中辻啓二
- 224 香川県仲多度郡満濃町炭所西地区における溜池及び沢水の鉄起源の解明
○室賀英治・井伊博行・中島敦司・谷口正伸

13:30~15:15

- 貯水池・湖沼の物理・環境 座長：松尾直規（中部大学）
- 211 治水専用ダム放流設備入口部の流木対策
○櫻井寿之・柏井条介
- 212 実務での有用性を念頭に置いた貯水池の流動解析モデル構築に関する基礎的検討
○梅田 信・石川忠晴・和泉恵之
- 213 ダム貯水池の内部静振と定常的往復流のメカニズムに関する研究
○横山勝英・新谷哲也
- 214 粒径分布が直投土砂の落下挙動と濁りの拡がりに及ぼす影響について
秋山壽一郎・重枝未玲・○柴田謙吾・杉山 晋
- 215 フェンスによる貯水池密度流の流動制御
秋山壽一郎・重枝未玲・○安藤祐馬・小野修平・小川真由子
- 216 連結系汽水湖に遡上する高塩分水塊の挙動とその制御に関する基礎的研究
○木村一郎・寺本敦子・小畑めぐみ・細田 尚
- 217 Erie湖における推算波浪資料の相互比較
山口正隆・○畑田佳男・大福 学・野中浩一

時計台記念館（国際交流ホールⅠ）

15:30~18:00

河川災害シンポジウム

時計台記念館（国際交流ホールⅢ）

15:30~18:00

アゲルシンポジウム

第3日目 3月9日（木）

第1会場（共北25教室）

8:50~10:40

国際セッション・水文

KEYNOTE LECTURE 4

K-4 FLOOD PREDICTION IN JAPAN AND PUB (PREDICTIONS IN UNGAUGED BASINS)
○Yasuto TACHIKAWA (Kyoto University)

1 TOWARDS THE DEVELOPMENT OF A LAND DATA ASSIMILATION SYSTEM FOR SNOW

○Tobias GRAF・Toshio KOIKE・Hideyuki FUJII

- 2 A BASIC STUDY ON SOIL MOISTURE ALGORITHM USING GROUND-BASED OBSERVATIONS UNDER DRY CONDITION
○Hui LU・Toshio KOIKE・Nozomu HIROSE・Masato MORITA・Hideyuki FUJII・David Ndegwa KURIA Tobias GRAF・Hiroyuki TSUTSUI
- 3 MULTIVARIATE STATISTICAL TECHNIQUES FOR THE ASSESSMENT OF SURFACE WATER QUALITY OF FUJI RIVER BASIN, JAPAN
○Sangam SHRESTHA・Futaba KAZAMA
- 4 APPLICATION OF A 2-D NUMERICAL MODEL FOR COMPUTING SUSPENDED SEDIMENT AND NUTRIENTS TRANSPORTS TO NHUE RIVER (HANOI, VIETNAM)
○Anh Duc TRINH・Yoshihisa AKAMATSU・Syunsuke IKEDA・Lan Anh LE・Duc Loi VU
- 5 USE OF MONTE CARLO OPTIMIZATION AND ARTIFICIAL NEURAL NETWORKS FOR DERIVING RESERVOIR OPERATING RULES
○Camilo A. S. de FARIAS・Alcigeimes B. CELESTE Yojiro SAKATA・Akihiro KADOTA・Koichi SUZUKI
- 6 PROJECTION OF THE IMPACT OF CLIMATE CHANGE ON THE SURFACE ENERGY AND WATER BALANCE IN THE SEYHAN RIVER BASIN TURKEY
○Kenji TANAKA・Yoichi FUJIHARA・Tsugihiko WATANABE・Toshiharu KOJIRI・Shuichi IKEBUCHI

10:50~12:35

- 流出(1) 座長：椎葉充晴（京都大学）
- 49 分布型流出モデルに基づくダム流入量予測システムの構築
○橋本徳昭・藤田 暁・椎葉充晴 立川康人・市川 温
- 50 ダム管理を含む上下流一貫の分布型融雪流出モデルの研究
○宮下文夫・陸 長皎・佐藤健太・早川典生
- 51 都市流出モデルに及ぼす土地利用データの影響について
○天口英雄・河村 明
- 52 分布型モデルへの適用を目的とした森林小流域における降雨流出モデルの提案
○山下三男・市川 新
- 53 分布型降雨流出モデルによる2004年10月台風23号由良川洪水の解析
○小林健一郎・立川康人・佐山敬洋・實 馨
- 54 流域規模での洪水流出および土砂流出特性について
○舩屋繁和・清水康行・ウォンササニット・村上泰啓
- 55 ため池を用いた御笠川流域の治水強化策
○大八木豊・島谷幸宏・杉本知佳子・加藤憲介・朴 埈燦

13:30~15:15

- 流出(2) 座長：山田 正（中央大学）
- 56 斜面流出水の降雨-流出応答特性に基づく河川水形成機構の検討
○芳賀弘和・西田 継・藤田昌史・坂本 康
- 57 降雨流出における斜面と河道の効果に関する研究
○呉 修一・山田 正
- 58 都市中小河川における集中豪雨時の洪水流出特性
○高崎忠勝・土屋十園
- 59 小流域における水質ハイドログラフの形成過程および推定手法に関する研究
呉 修一・劉 金双・江花 亮・山田 正
- 60 一般中小河川にも適用可能な雨量・水位データを用いた流出解析モデルパラメータの同定手法
○田村隆雄・端野道夫・橋 大樹
- 61 ダムの増設に伴う利根川八斗島基準点における治水効果の検討
○中村要介・土屋十園
- 62 地球温暖化が利根川上流域の水資源に及ぼす影響評価
○藤原洋一・大出真理子・小尻利治 友杉邦雄・入江洋樹

15:20

開会式

第2会場（共北26教室）

9:00~10:30

- 開水路流 座長：瀬津家久（京都大学）
- 106 傾斜水路の跳水特性に対する気泡混入射流の影響
○小林 純・安田陽一・大津岩夫
- 107 河岸侵食面に作用するせん断応力と流れ構造の関係
福岡捷二・渡邊明英・内田龍彦・○山本健介
- 108 常流射流混在流れの構造に砂州前縁部地形と側壁粗度が与える影響
○古川保明・池田裕一・岩崎太志・須賀如川
- 109 開水路乱流における水面変動の移流特性
○宮本仁志
- 110 複断面開水路流の直線から蛇行への遷移領域における組織水平面に関する計算力学的研究
○山上路生・瀬津家久

- 111 多断面スキニングPIVを用いた蛇行複断面開水路流れの時空間相関特性に関する研究
山上路生・瀬津家久・土井智礼・○Hoang Quang

10:40~11:55

- 流域の水環境 座長：河原能久（広島大学）
- 250 河川に対する評価構造と心理プロセスの統合モデルの検討
○三阪和弘・小池俊雄
- 251 住民の水環境意識の向上を目指したCVM調査
○森尾宜紀・野口正人・菊竹加良子
- 252 自己組織化マップを利用した地方自治体の水循環系の健全性に対する評価への試み—九州の市町村を事例として—
○清武厚子・広城吉成・新井田浩・秦 裕一・西山浩司・神野健二
- 253 模擬降雨流出水採取法（MOS法）に基づく路面上のノンポイント汚染源調査
○砂田岳彦・二瓶泰雄・坂井文子・吉田拓司
- 254 出水時における森林源頭部の湧水中有機炭素濃度変動に影響を及ぼす流出経路と出水前の湧水溶存有機炭素量の検討
○松本嘉孝・西田 継・芳賀弘和・坂本 康

13:45~15:15

- 領域水熱循環 座長：神田 学（東京工業大学）
- 81 福井県嶺南地方における山谷風の観測
○玉井昌宏・有光 剛
- 82 海風侵入が福岡都市圏の大気熱環境に及ぼす影響
久田由紀子・松永信博・○安東 聡
- 83 住宅街における冬季夜間の局所的冷気沈降とスカラー濃度プロファイルの形成機構
○森脇 亮・神田 学
- 84 福岡都市圏における夏季夜間のヒートアイランド構造
○久田由紀子・松永信博
- 85 都市内緑地とその周辺における気温と湿度の鉛直・水平構造特性
○加藤拓磨・手計太一・山田 正・日野幹雄
- 86 都市人工排水系における水・熱輸送に関する観測研究
○中山 有・神田 学・木内 豪・森脇 亮

第3会場（共北27教室）

9:30~10:30

- 河川計測 座長：藤田一郎（神戸大学）
- 118 GPSフロートに基づく河川流のラグランジュ的観測
○江端萌奈美・二瓶泰雄
- 119 横断平均流速の測定と流速分布の数値シミュレーションを組み合わせた流量測定技術の開発と大河川での実地検証
中川 一・小野正人・○小田将広・西島真也
- 120 現地河川模型実験へのPTVの適用性の検討
○竹原幸生・久末信幸・江藤剛治・高野保英
- 121 ADCPを用いた中小河川の流量計測法に関する検討
○酒井雄弘・二瓶泰雄

10:40~12:25

- 構造物の水理(1) 座長：前野詩朗（岡山大学）
- 136 時系列解析を用いた出水時における河川橋梁の振動と水位の相関性に関する研究
○松本健作・宋 東烈・玉置晴朗・青木隆行・藤田智之・菅 正信
- 137 振動流場における非対称没水構造物周りの流動解析
○押川英夫・小松利光
- 138 河川仮締切工の局所洗掘特性とその数値計算への応用
○大谷英夫・東江隆夫
- 139 河床洗掘による根固め工の滑り限界の力学的検討
○土井豆政廣・内田龍彦・渡邊明英・福岡捷二
- 140 相対堰高がゼロで接近流が射流の場合の横越流堰の流量係数
鬼束幸樹・秋山壽一郎・○俣賀 円・井田千尋
- 141 3次元多相場の数値解法を用いた越流による透水堰の破壊過程の数値計算
牛島 省・○福谷 彰・吉川教正・瀬津家久
- 142 水制の形状が砂州地形の擾乱に及ぼす影響に関する実験的検討
○武藤裕則・中川 一

13:30~15:15

- 構造物の水理(2) 座長：藤田裕一郎（岐阜大学）
- 143 3D-MPS法による数値魚道の構築に関する基礎的検討
後藤仁志・五十里洋行・酒井哲郎・○望月貴文
- 144 突起高の大きい護岸ブロックに作用する流体力と流れに関する研究
○林建二郎・今野政則・浜口憲一郎・阿部康紀
- 145 浸水時地下街階段登段者の脚部に作用する流体力評価に関する計算力学的アプローチ
後藤仁志・五十里洋行・酒井哲郎・○谷岡弘邦
- 146 階段状水路における空気混入射流の特性に対するレイノルズ数の影響
○高橋正行・安田陽一・大津岩夫
- 147 斜水路下流部における円筒形ブロックの横断配列の相違による流体力の変化
○鬼束幸樹・秋山壽一郎・重枝未玲・中川達矢
- 148 画像計測を用いた取水渦の発生要因に関する実験的検討
○久末信幸・竹原幸生

149 常流あるいは射流中に置かれた水没柱状物体に働く流体力
重枝未玲・秋山壽一郎・○石原 仁

第4会場（共北28教室）

9:15~10:30

- 流砂(1) 座長：中川 一（京都大学）
150 京都における文化財を含む地域の土砂災害危険領域に関する一考察
○伊藤隆郭・江頭進治・コーシャル・ラジェ・シャーマ
151 数値計算結果に基づく除石による砂防ダム機能回復の評価
○本田尚正・奥村武信
152 浜床堆積物の侵食による土砂流発達過程に関する数値解析
○長田健吾・清水義彦・若井明彦
153 宇奈月ダムフラッシング排砂時の細粒土砂流下特性
角 哲也・○白音包力畢・森田佐一郎
154 山地小流域の濁度と濁度発生量に関する数値解析
○山梨光潤・佐渡公明

10:40~12:10

- 流砂(2) 座長：関根正人（早稲田大学）
155 貯水池下流部に堆積した微細粒土砂の巻き上げ特性に関する実験的研究
角 哲也・○井口真生子・藤井智康
156 フラッシング排砂のプロセスとその数値シミュレーション
○重枝未玲・秋山壽一郎・高須賀真哉
157 江戸川における土砂濃度の横断・鉛直分布特性と土砂輸送量算定法の検討
二瓶泰雄・○植田雅康・木水 啓
158 感潮域における潮汐流と土砂輸送の数値解析
川西 澄・○荒木大志
159 超音波による河床波・転動粒子の追跡と掃流砂量の推定方法
横山勝英・○和田昌行・藤塚慎太郎・末次忠司・川口広司
160 河床に設置された連結礫工の安定性と破壊過程について
○山本太郎・長谷川和義・浅利修一

13:45~15:15

- 土砂生産 座長：藤田正治（京都大学）
172 農地主体の小流域に対応した侵食・土砂流出モデルの構築
○大澤和敏・池田駿介・高椋 恵・酒井一人
173 石垣島名蔵川流域における土砂流出に関するGISの構築と現地観測
○高椋 恵・大澤和敏・池田駿介・久保田龍三朗
174 堆積学的手法による筑後川の土砂供給能に関する長期変遷解析
横山勝英・○中村岳由・五十嵐麻美
175 粘土を含有する裸地斜面の降雨による表面浸食過程に関する研究
関根正人・○長濱正憲・西森研一郎
176 ガリの発達とそれに伴う土砂生産過程
○水嶋大樹・泉 典洋
177 斜面崩壊プロセスが土砂流出に与える影響に関する研究
○里深好文

第5会場（共北31教室）

9:00~10:45

- 植生のある開水路流・河川流 座長：清水義彦（群馬大学）
190 植生キャノピー開水路流れの乱流構造とディスペンシブ効果に関する実験的研究
○藤津家久・山上路生・○岡本隆明
191 植生群落の配置が開水路流れの抵抗に与える影響
大本照憲・○田中貴幸・矢北孝一
192 2005年美瑛川出水の樹木群落を含む流速鉛直分布の観測
○阿部修也・渡邊康玄・桑村貴志
193 風計測による河道内樹木群落の抵抗特性の推定
○岡部健士・山口義人・竹林洋史
194 洪水時における樹木内流速現地観測
○油川曜佑・渡邊康玄・石田洋一・五十嵐拓
玉館 敦・鈴木信幸・三田村一弘
195 利根川・江戸川分派点を含む区間における流量ハイドログラフと粗度係数・樹木群透過係数の評価
福岡捷二・渡邊明英・○田端幸輔・風間 聡・牛腸 宏
196 樹木群を考慮した平面2次元数値モデルによる乙津川の洪水流解析
重枝未玲・朝佐孝二・坂本 洋・長太茂樹・秋山壽一郎
○樋口直樹・重岡広美・徳永智宏

10:55~12:25

- 水害 座長：田中 仁（東北大学）
94 T0514による豪雨災害時における気象情報の有効性について
○辻本浩史・後藤祐輔・竹下 航・田中 創
95 水害発生後の復旧期における行政機関の対応に関する住民の意識
○照本清峰・佐藤照子・福岡輝旗
96 “水のみち”による都市域水害軽減の提案
○黄 光偉・磯部雅彦
97 スマトラ沖地震津波によるスリランカでの被害に関する現地調査一河川被害を中心として一

- 田中 仁・中川 一・石野和男・矢野真一郎
Bandara Nawarathna・安田浩保・渡邊康玄・長谷川和義
98 実物大模型を用いた地下空間からの避難に関する実験的検討
石垣泰輔・戸田圭一・○馬場康之・井上和也・中川 一
99 地下街浸水時の群衆避難の個体ベースシミュレーション
○原田英治・後藤仁志・酒井哲郎・久保有希

13:45~15:15

- 氾濫の水理 座長：秋山壽一郎（九州工業大学）
112 地下鉄駅が立体的に接続する地下空間における浸水過程に関する数値解析
関根正人・○中村 淳
113 建物間に浸入する氾濫流に対する3次元多相場の数値計算法(3D MICS)の適用
牛島 省・○牧野統師・瀬津家久
114 水路を遡上する波動流れとその氾濫流に対する3次元数値計算
牛島 省・牧野統師・○円界正憲・瀬津家久
115 2004年10月出石川氾濫を対象とした現地調査に基づく高解像度氾濫解析
○大藪政志・椿 涼太・藤田一郎・川谷 健
116 河道特性と市街地構造を考慮した越水・破堤氾濫シミュレーション
○秋山壽一郎・重枝未玲
117 局所的な浸水深と流速に着目した都市域の水害危険区域に関する検討
○川池健司・江藤慎也・丸山寛起・野口正人

第6会場（共北32教室）

9:00~10:30

- 内湾・河口部の水質環境 座長：田中昌宏（鹿島建設）
231 流域水物質循環モデルを用いた東京湾と流入河川における水質変遷再現について
○安間智之・小路剛志・伊藤弘之・藤田光一
232 河口部に設置された円柱による河口周辺での流れエネルギーに関する検討
○中山恵介・岡田知也・古川恵太
233 大船渡湾内の水温およびDO濃度変動に与える沿岸境界流としての津軽暖流の影響
○佐藤博信・柏館信子・野村宗弘・沢本正樹
234 志津川湾における貧酸素水塊の発生と台風通過後の西風に伴う水質変動
○山本 潤・田中 仁・高崎みつる・佐伯信哉
235 TERRA-ASTER画像を用いた有明海湾奥部の水質推定手法について
○大串浩一郎・荒木宏之
236 人工構造物に囲まれた水域におけるDOおよび栄養塩の時空間分布特性
○入江政安・中辻啓二・西田修三・石垣 衛・窪田勇輝

10:40~12:25

- 沿岸域の物理・環境 座長：坂井伸一（電力中央研究所）
237 河川を遡上する津波の1次元解析手法の提案と実現象への適用
○安田浩保
238 マレ島における津波遡上に対する護岸の効果検討
加藤史訓・福濱方哉・○大谷靖郎・今津雄吾・佐川拓也・林健太郎
239 遺伝的プログラミングによる潮位偏差の予測に関する研究
○西田 渉・松田良寛・野口正人
240 波浪場における方向抵抗差を有する管路の残差流特性
川野 立・Mukhsan Putra HATTA・藤田和夫
松田如水・押川英夫・○小松利光
241 干潟を考慮した流動モデルの構築と有明海への適用
○西田修三・入江政安・橋本 基・海江田洋平
242 島原半島北部沿岸における流動構造の現地観測
○齋田倫範・矢野真一郎・田井 明・橋本泰尚
藤田和夫・小松利光
243 粒子法とBoussinesqモデルのハイブリッド化に関する基礎的研究
後藤仁志・五十里洋行・酒井哲郎・○奥田一弘

13:45~15:15

- 沿岸域の水質・生態系 座長：西田修三（大阪大学）
244 潮汐と波浪外力による干潟域の流動・地形変化の数値計算
○高橋俊之・陸田秀実・新井 洋・土井康明
245 有明海湾奥部干潟前縁域の流動構造と懸濁懸物質輸送特性に関する現地観測
八木 宏・○井瀬 肇・松村航裕・木元克則
246 有明海竹崎沖における底泥の栄養塩吸着
徳永貴久・松永信博・○磯野正典・高橋 篤
247 沿岸域に生育するマコンブの生育域・生産量と水温及び海底基質との関連性に関する研究
○神谷徳成・和田 明・長谷川一幸
248 湾内のサンゴ礁生態系環境に関する数値シミュレーション
○赤松良久・石川忠晴・池田駿介
249 石垣島アンバル干潟開口部における浮遊性大型有機物の交換に関する計測
○河内 敦・入江光輝・石川忠晴

第50回 水工学講演会 (京都大学吉田キャンパス) 発表時間：15分/件, Keynote Lecture: 20分/件, [] 内は司会者

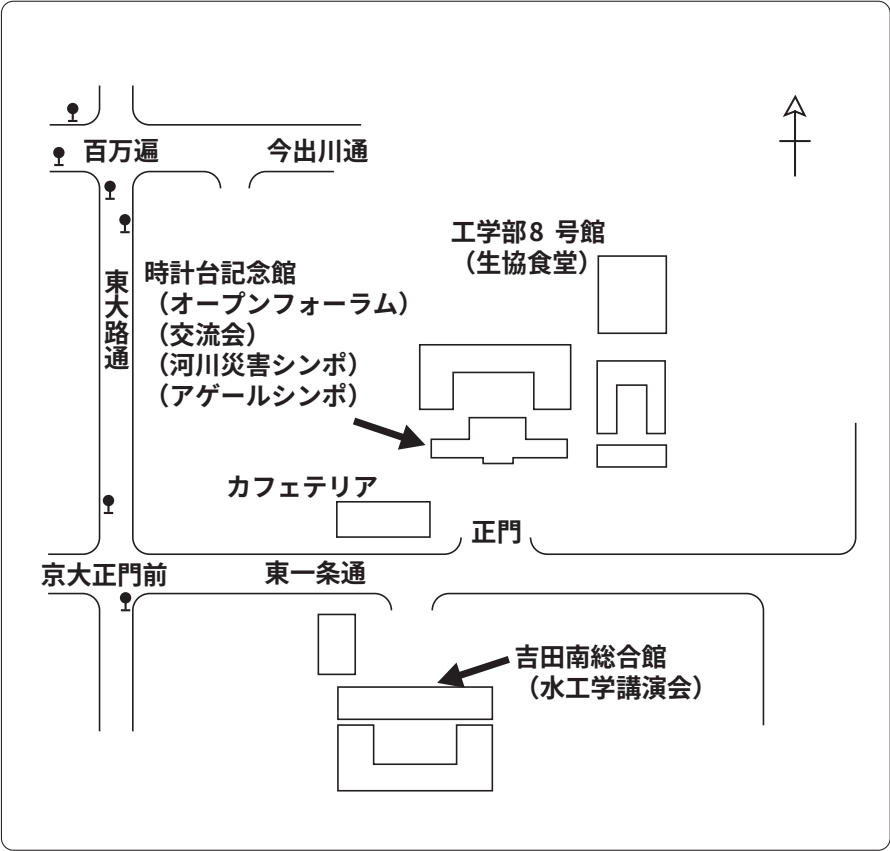
会場		9:40-10:00	10:10-12:00	13:00-17:00	交流会 17:30-19:30 (時計台記念館 国際交流 ホール・II)
1		開会式	10:10-12:00 国際・PUB [堀] Keynote-1 (山田) +6編	日本の水害とその対策に関するオープンフォーラム (時計台記念館 100周年記念ホール)	
2			10:15-12:00 大規模水循環 [大石] 7編		
3			10:15-11:45 リスクマネジメント [末次] 6編		
4			10:15-11:30 河床形態 [渡邊(康)] 5編		
5			10:15-11:45 河川の水質環境 [大本] 6編		
6			10:15-12:00 数値解析(1) [細田] 7編		

会場		9:00-10:45	10:10-12:00	13:30-15:20	15:30-18:00
3月	1	9:00-10:35 国際・河床土砂 [清水(康)] Keynote-2 (辻本) +5編	10:45-12:30 国際・流出 [陸] 7編	13:30-15:20 国際・水理 Keynote-3 (石川) +6編	河川災害シンポ (時計台記念館 国際交流ホールI)
	2	9:15-10:30 雪氷水文 [石平] 5編	10:40-12:25 降水 [中北] 7編	13:30-15:00 大気乱流熱輸送 [浅沼] 6編	
8日 (水)	3	9:00-10:30 浸透 [岡] 6編	10:40-12:10 地下水 [坂本] 6編	13:30-15:00 水文統計 [葛葉] 6編	
	4	9:00-10:45 数値解析(2) [渡邊(明)] 7編	10:55-12:25 河床・河道変動 [竹林] 6編		
	5	9:00-10:30 河川の水質・生態系 [天野] 6編	10:40-12:25 河川水域の物理・環境と生態系(植生) [島谷] 7編	13:30-15:15 河川水域の物理・環境と生態系(魚類) [萱場] 7編	
	6	9:00-10:30 貯水池・湖沼の水質対策 [檜谷] 6編	10:40-12:25 湖沼の水質 [二瓶] 7編	13:30-15:15 貯水池・湖沼の物理・環境 [松尾] 7編	

会場		8:50-10:45	10:40-12:35	13:30-15:15	15:20
3月	1	8:50-10:40 国際・水文 [竹内] Keynote-4 (立川) +6編	10:50-12:35 流出(1) [椎葉] 7編	13:30-15:15 流出(2) [山田(正)] 7編	閉会式
	2	9:00-10:30 開水路流 [瀬津] 6編	10:40-11:55 流域の水環境 [河原(能)] 5編	13:45-15:15 領域水熱循環 [神田(学)] 6編	
9日 (木)	3	9:30-10:30 河川計画 [藤田(一)] 4編	10:40-12:25 構造物の水理(1) [前野] 7編	13:30-15:15 構造物の水理(2) [藤田(裕)] 7編	
	4	9:15-10:30 流砂(1) [中川(一)] 5編	10:40-12:10 流砂(2) [関根] 6編	13:45-15:15 土砂生産 [藤田(正)] 6編	
	5	9:00-10:45 植生のある開水路流・河川流 [清水(義)] 7編	10:55-12:25 水害 [田中(仁)] 6編	13:45-15:15 氾濫の水理 [秋山] 6編	
	6	9:00-10:30 内湾・河口部の水質環境 [田中(昌)] 6編	10:40-12:25 沿岸域の物理・環境 [坂井] 7編	13:45-15:15 沿岸域の水質・生態系 [西田] 6編	

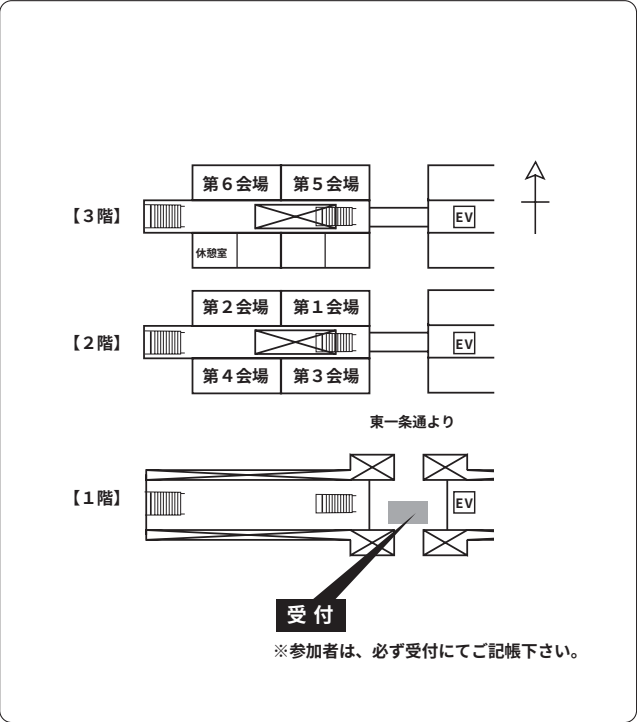
国際セッション・一般講演会場：京都大学吉田キャンパス・吉田南総合館：
第1会場：共北25教室(北棟2F), 第2会場：共北26教室(北棟2F), 第3会場：共北27教室(北棟2F),
第4会場：共北28教室(北棟2F), 第5会場：共北31教室(北棟3F), 第6会場：共北32教室(北棟3F)

会場マップ



- 京都大学吉田キャンパス
(京都市左京区吉田本町)
- ・ 京都駅から(所要時間: 約35 分)
京都市バス
206系統
(東山通北大路バスターミナル行)
「京大正門前」下車
17系統
(河原町通錦林車庫行)「百万遍」下車
 - ・ 阪急河原町駅から(所要時間: 約25分)
京都市バス
201系統
(祇園百万遍行)「京大正門前」下車
31系統
(熊野・岩倉行)「京大正門前」下車
17系統
(河原町通 錦林車庫行)「百万遍」下車
3系統
(百万遍 北白川仕伏町行)「百万遍」下車
 - ・ 京阪出町柳駅から
今出川通を東へ進み、百万遍交差点で右折、
南へ(所要時間: 約20 分)
 - ・ 地下鉄烏丸駅から(所要時間: 約15 分)
京都市バス
201系統
(百万遍・祇園行)「京大正門前」下車
203系統
(銀閣寺道・錦林車庫行)「百万遍」下車

吉田南総合館北棟（講演会会場）



時計台記念館

